

あきたの りょうりかち VOL. 490 2016.4.25

CONTENT 1 水土里ネット秋田 役員の紹介

CONTENT 2 進藤かねひこ氏 本県女性農業者と対談

「春の使者」

写真は土地改良区近くの水路法面で撮影しました。秋田県の県花として指定されているフキノトウ。雪解けとともに至る所で目にすることができます。その姿は、春到来を告げる使者として親しまれています。

写真提供：木村 恭平
(山田五ヶ村堰土地改良区)



イメージキャラクター
みどりちゃん

水土里ネット秋田 役員紹介

平成28年4月1日現在



◆会長

高 貝 久 遠

◎秋田県田沢疏水土地改良区
理事長

3月22日の第58回通常総会で役員の新選任が行われ、新たに理事2名、監事1名が選任されました。今年度の役員は次のとおりです。



◆副会長

正 木 正 一

◎由利本荘市土地改良区
理事長



◆副会長

畠 山 清 俊

◎比内町土地改良区
理事長



◆専務理事(新任)

藤 原 元 吉

◎員外(学識経験者)



◆常務理事

水 戸 憲 光

◎員外(学識経験者)



◆理 事

長 谷 部 誠

◎由利本荘市長



◆理 事

田 中 長

◎琴丘土地改良区
理事長



◆理 事 (新任)

福 原 淳 嗣

◎大館市長



◆理 事

田 口 信 一

◎かづの土地改良区
理事長



◆理 事

大 坂 芳 市

◎雄勝郡山田五ヶ村堰
土地改良区理事長



◆理 事

柴 田 康 二 郎

◎秋田県雄物川筋土地
改良区理事長



◆理 事

松 田 知 己

◎美郷町長



◆理 事

鈴 木 清

◎男鹿東部土地改良区
理事長



◆総括監事

藤 井 弘 道

◎秋田県南旭川水系
土地改良区理事長



◆監 事

小 川 善 信

◎能代南土地改良区
理事長



◆監 事 (新任)

南 都 武 男

◎昭和土地改良区
理事長

目次

| | | | |
|-----------------------------|----|------------------------------------|----|
| 水土里ネット秋田 役員紹介 | 2 | 土地改良区の合併紹介 | 14 |
| 新常勤役員紹介 | 3 | 来てくれ！仙北市 | 15 |
| 全土連第58回通常総会 | 3 | ようこそ改良区へ(羽後町土地改良区：奥山賢次) | 16 |
| 進藤かねひこ氏、本県女性農業者と対談 | 4 | 随想(秋田県仙北平野土地改良区：坂本由美子) | 17 |
| 県新任挨拶 | 8 | 連合会日誌、会員だより | 17 |
| 形成28年度県関係機関の紹介 | 9 | 水土里レポーターによる写真投稿(秋田県雄物川筋土地改良区：佐々木隆) | 18 |
| 県の土地改良関係課職員配置 | 10 | 水土里キッズのわくわく探訪inにかほ告知 | 18 |
| 平成28年度予算、新規事業について【秋田県農地整備課】 | 11 | 水土里のゴミゼロDAY告知 | 18 |
| 平成28年度本会機構図及び事務局体制 | 12 | リレー日記(仙北平野土地改良区：斎藤麻衣子) | 18 |
| 本会新任職員の紹介 | 14 | 編集後記 | 18 |

水土里ネット秋田 新常勤役員の紹介

4月1日付けで専務理事（常勤役員）として、藤原元吉氏（学識経験者）が就任されましたので紹介します。

経歴

昭和54年4月 秋田県庁採用
平成25年4月 県農山村振興課長
平成26年4月 県農林水産部次長
平成27年4月 県雄勝地域振興局長

生年月日(血液型)

昭和30年4月19日(O型)

ご挨拶

会員の皆様には、日頃から農業農村整備事業の推進はもとより、本会の業務運営につきまして、特段のご理解、ご協力を頂いておりますことに厚くお礼を申し上げます。

私こと、土地改良技術者として秋田県庁に37年間勤務し、この3月に雄勝地域振興局を最後に退職いたしました。この度、ご縁がありまして、第58回通常総会において員外理事として選任され、その後、専務理事に互選となり過日着任いたしました。

微力ではありますが、農業の発展および農村の振興のため、全力を尽くして参りますので、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

専務理事

ふじ 藤 原 元 吉
わら もと きち



第58回通常総会&全国水土里ネット表彰式



3月25日、全国から関係者らが参加し、「全国水土里ネット第58回通常総会」が東京都(都市センターホテル)で開催され、平成26年度事業報告や決算、平成27年度の補正予算、また、平成28年度の事業計画や一般会計予算などを審議し、すべて満場一致で承認・議決された。

二階会長は「皆様には昨年末から特に予算の要請活動に積極的に取り組みいただき、おかげさまで平成27年度補正予算と平成28年度当初予算併せて1,222億円の増額が達成できた。この間、皆様からいただいた力強いご支援に心から御礼申し上げ、29年度も予算の増額を目指し、気を緩めることなく尽力していきたいと思っている」と開会の挨拶を行った。

続いて、全国水土里ネット表彰式(第57回全国土地改良功績者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール、21世紀土地改良区創造運動表彰式)がシェーンバッハ・サボーにおいて開催され、森山裕農林水産大臣など約600名が出席。全土連副会長である本会高員会長が賞状の贈呈を行い、本県でも4団体2個人が表彰を受けた。(表彰者については3月25日発行の第489号を参照)

「元気な土地改良の復活、女性の活躍に向けて」

Talk 進藤かねひこ氏に抱負を伺う

農業・農村を元気に…女性の役割、土地改良の役割

Shindo Kanehiko
全国水土里ネット会長会議顧問
進藤かねひこ氏



聞き手

竹原まゆみ 株式会社 農匠 取締役
山上 信子 秋田県地球人会議会長、りんご農家
木元千恵子 農家レストラン経営

土地改良事業への熱い思いで奔走中

木元 進藤さんは、秋田県のお生まれとのことですが。

進藤 昭和38年に秋田県協和町、現在大仙市になりましたが、その船岡で生まれました。実家は水田農家で子供の頃は農作業も手伝っていました。小学校の時から野球をやっていて、近くの学校との練習試合の範囲が広がっていく中で秋田を徐々に知っていきました。中学時代に全県少年野球大会で優勝したことで世界がぐんと広がり、秋田経大附高に入学したことで更に広い秋田を知ることができました。隣県の岩手大学農学部で農業土木を学びましたが、実家の船岡では場整備をしていたので農業土木は身近でした。こうした中であっても、本当の秋田のことを知ったのは、むしろ就職してからでしたね。

山上 小さい頃って、周りのことしかわかりませんからね。

進藤 昭和61年に大学を卒業してすぐ農水省に入りました。最初の1年間、東京の霞ヶ関で勤務した後、佐賀県の唐津市でかんがい用のダム建設の現場に2年間いて、その後宮崎県の都城市にある調査管理事務所で2年間、畑地域の水不足量調査や、不足分を賄うためのダム規模の計算、その

結果を踏まえた農家への聞き取りなどをしました。そこで都城市生まれの妻と出会って結婚しました。

木元 そうなんですか。奥様は九州の宮崎ですか。

進藤 九州から東京の本省に戻り、土地改良長期計画の策定と予算の総括の係長を4年間しました。その後南米チリ国の大使館に書記官として3年間出向し、捕鯨問題や植物検疫の調整等を担当しました。帰国後は高さ100mを超えるダムの建設現場を抱える福井県の国営事業所の課長を3年間務めました。そこは、用水が足りなくて約5600ヘクタールの水田にダムの水をパイプラインにより用



進藤かねひこ

水補給する事業で、ダムは洪水防止の役割も担っており、地域の上水道と工業用水も貯めています。今では、ダムをはじめ全ての事業が完成し、地域に大きな効果をもたらしています。

木元 いろいろなことを経験されていますね。

進藤 その後研究機関に出向し、農水省に戻ってから、かんがい排水施設の整備等の担当班長、予算総括の班長を4年間しました。次いで熊本県に3年間出向した後、国に戻り関東農政局で設計課長というポストにつき、そこからもう一度研究機関に行きました。その後海外担当の室長、更に人事担当専門官を経て中山間地域振興課長を最後に、昨年6月、農林水産省を辞職しました。そして7月から全国をぐるぐる廻りながら、土地改良関係を中心に地域の方々の意見を聴いています。土地改良事業の予算が各地でどれくらい足りないのかなど、農村地域の方々と意見交換し、政治的にしっかりと取り組んでいくべきとの要請に応じていこうと、全国を廻って勉強中なんです。ところで山上さんはどのような経営をされていますか。

土地改良事業、土地改良区の役割の発信が必要

山上 私の両親は昭和25年に2人で開拓して農業を始めたのですが、周りとは山からの水がなくて水田を作れなかったため、しばらく畑作物をやっていました。その後りんごを植えた方が良いということで、畑の土を入れ替えて、農家5軒で「ふじ」という品種を導入し、果樹農家を目指して、規模拡大をしてきました。



山上信子

進藤 土地改良との関わりはありますか。

山上 地球人会議に入って土地改良について聞いたり、現場に行ってみて、また「わくわく探訪」のようなお子さんを対象にした授業などに参加させてもらい、大切な仕事をしていることを初めて知りました。ついでに農業・農村の現状や農業の維持・発展に土地改良区の方々が頑張っているということを、県内の多くの方に理解してもらえるように、農業の現場にいる私達が積極的に発信していかなければいけないと思っています。

進藤 具体的にはどのようなことを発信すればよいと思いますか。

山上 例えば国の事業で、「農業だけ、あんなに予算を貰って」と、誤解を抱かれないよう、我々現場にいるものが用水がいかに大切で、その確保、保全のための土地改良事業や土地改良区の役割などについて、しっかり発信していかななくてはならないのではと思います。

農村における女性の役割、男性の役割

進藤 竹原さんはどのような取り組みをされているのですか。

竹原 私は八森の農家の出身で、高校卒業後、今は閉学した大潟村の農業短大に行き、そこで主人と出会いました。主人との結婚を契機に専業農家として稲作プラス畑作の複合経営で来ました。そして今から10年前に2軒の農家で法人化して株式会社を立ち上げました。

進藤 そうですか。会社の経営の方は順調ですか。

竹原 どうにか継続していたのですが、会社を創って5年目に、自分達の地域も「ほ場整備」が出来てこれからという時に、主人が癌を患い亡くなりました。それまで私は野菜の直売、加工やお菓子の商品開発などをやっていたんですが、主人がいなくなって自分の立場が女性の役割から男性の役割へと全く変わってしまいました。稲作での男性の役割は沢山あって、とにかく朝起きたら軽トラに乗って水を見に行くということなどが自分の仕事になってしまいました。

進藤 女性の役割から男性の役割に変わったのですね。今は経営は基本的小米ですか。

竹原 今は米主体で合計46町歩ぐらいを請け負っており水田は30町歩ぐらいです。3人いる30代の社員が機械を乗りこなしてやってくれていますが、私はどうしても手仕事の方が多くなります。

グリーンツーリズムに奮闘中

進藤 木元さんはどのような取り組みをされていますか。

木元 西木町で、母の惣菜屋の経営を継ぎ、2000年に小さな商店街から国道沿いに移動し、手作り惣菜のお店を立ち上げています。2010年には母と私のガーデニングの趣味を活かして、ローズガーデンを併設しました。父親が作るお米やお婆ちゃんが育てている野菜の惣菜などを販売しており、家族とお客様との心のふれ合いがあるお店になってきています。

進藤 お店の周りにはどのような環境ですか。

木元 仙北市は秋田新幹線の2駅の外、交通網が整っており、観光資源も温泉街、スキー場など多

くあり、地域との連携や循環する観光を考えた方がいと思って、地域の観光協会に所属して色々取り組んできました。そこで東京へのPRキャンペーンに参画する機会を得る中、地元女性100人との繋がりができて、今でも当時の女性達が機会あることに集まっています。

進藤 その繋がりは素敵ですね。

木元 また平成23年に秋田県と国際教養大学が共催の「かつりよくびと活カ人の養成講座」というセミナーに参加したのですが、「秋田県に必要なものは箱じゃなくて、たぶん地域に点在するキーマンをコーディネートする人が必要だ。」そして「地域間の交流と世代間の交流が大事で、そこに自ら問題意識をもって自分事として解決していくことが大事。」ということ学びました。

進藤 とても興味深いセミナーでしたね。ほかにも何か取り組んでいますか。

木元 ガーデニングでの五感で感じる幸せな気分を求めて来るお客様も多いことから、旬の情報をピンポイントでお知らせし、この店を好きになってもらった方がリピーター率も満足度も高くなると思いました。そういう集客の仕方をしていかなければならないと気づき、今は情報発信も含めてそれにチャレンジしています。

地域活性化のためにはコーディネーター育成、農業そのものが元気になることが必要

進藤 色々貴重な取り組みをお聞きしましたが、地域の活性化には何が必要だと思いますか。

山上 私たちが現場や地域で活動するためには、だれかが全体をまとめ上げて、それを伝え、活かして、それをまた元の現場へと橋渡しをしてくれるコーディネーター、人材の育成を、しかも年代ごとのコーディネーターを作ってもらえるといいなと思います。地域での取り組みが長く継続していけるような環境づくりに行政の方からも支援があるといいですね。

進藤 ネットワークづくりと、そこでみんなで情報を共有できればということですね。今「一億総活躍」が叫ばれていますが、各地域でそれぞれ情報共有できれば、お互いに融通したり、助け合ったり、そういうネットワーク化ができていくと、非常に良くなると思います。

竹原 私は、秋田の男性がもっと笑顔でいられるような世の中だったら、もっと良くなるなと思います。経営を担うことは男性も本当に大変だと思います。その基となる農業自体がもう少し良くなり、男性が笑顔になればと思います。そうすれば女性も自然に笑顔でいられると思います。

自分の地元、地域にもっと自信を持ってもらうことが大切 学校給食も地元産で

進藤 私はTPPでも、農業自体についてでも、若者に対して、暗い話ばかり言うのではなく、しっかり情報を提供して、やる気が出るようなことをしていくべきだと思います。しっかり立ち上がっていく人達の支援の仕方を考えていくことが大事であると。

竹原 そうですね。もっと具体的な話を聞いて、希望があれば頑張れますよね。

木元 今地元にいる子供さんたちに、もっとこの地域を好きになり、誇りを持って住み続けていくんだという意識になるように育てていく、人材育成が必要だと思います。地域にいる子供たち全員がこの地域から出ないという鎖国制度でも作った方が良いのでは。(一同笑い) それぐらいの意識で教育をしなければいけないし、そのように大人への教育もしなければいけないのではと思います。



木元千恵子

進藤 おっしゃる通りですね。秋田ということに誇りを持って、しっかりと残って、それでもいい生活ができるんだと伝えていくことが必要だと思います。又、私は各地で、「是非、学校給食は多少お金がかかっても、地元、自県、少なくとも日本のものだけを食べてもらいましょう。」と話しています。子供たちが地元の美味しいものを食べて育っていくことは、地域に対する誇りを持つことにもなると思います。また、最近、防災の観点で都会と協定を結ぶ地方の市町村がありますが、協定先から積極的に学校給食等の食材を調達すべきだとか、短期間でなく3ヶ月ぐらい都会の子供達を地方に連れてきて農作業に従事させてはどうかといった提案をする人もいます。

女性の視点を活かすことが大切

木元 実際、私たち女性は5年ぐらい前からその様なことをあちこちでしゃべってきていますが、まったく変わらないのはどうしてでしょうね。男の人のもいったい何を聞いているのでしょうかね。

(一同笑い。)男性と女性がお互いバランスが取れて共に育つ、協力していくという意識が必要だと思ひます。

山上 ものをちえていくには時間がかかるので、諦めないで言い続けてちえていく努力が必要ですね。お互い、男性の視点、女性の視点は、はっきりちゆう所もあるのではお互い認め合うことが必要だと思ひます。

竹原 農業関係はどこに行っても男性だらけで、社長の代わりに私が行っても男性の中にポツンといひるみたいなの状況なんです。でも何回か繰返してお互い慣れてくると、何とかなっていきみたいですね。



竹原まゆみ

進藤 皆さんの話、女性のセンスとか、絶対男性では気付かないようなこととか、そういうことをどんどん発信して、広げているという感じがありますね。男性が担っている部分、女性が担っている部分がそれぞれあって、それを何が何でもここは一方がというのではなく、それぞれの感性とか、やる気だとかが活かせるような、そういう土壌、環境をどう作っていくかが重要だと思ひます。

もっと農業・農村のアピールや、地域資源に付加価値をつけることが大切

進藤 加えて重要なのは、農業と農村をもう少し国民にアピールして理解していただくことですね。国家として農業・農村をどうすべきかということを一緒に議論し、「農業・農村は重要だよ」ということを理解していただいた上で対策をやっていかないと行けないなと思ひます。更にもう一つは地域資源です。これから秋田を良くしていくにはどうすれば良いかと考えて行くと、秋田県はこれまで米中心でしたが、今後は秋田の地域資源にどのように付加価値をつけて、それを都会の資本でなく秋田の地域にどう還元していくかが大事で、そこに新たに時代の流れとか、人の見方を踏まえ、例えばヨーロッパの人達が、木元さんのところにゆっくり1週間か2週間滞在し、たっぷりお金を落としていきみたい、そういうことができてくれば、日本や地方も良くなってくるし、秋田はそっちの方向でいけるのではと思ひます。

木元 私もそう思ひます。貧しいけれど、これだけ品格のある県はなかなかないと思ひています。

進藤 裏を返せばまだポテンシャルがあるということですね。先ほど、竹原さんが話された「笑顔」の話のように、もう少し前を向いて、プラス思考でやっていって、その中で、あるべき論として「女性の役割」「男性の役割」ということでガチガチやるのではなくて、柔軟に双方の役割が分担できる環境整備が必要でないかという気がします。

木元 それから女性を道具みたいに言わないでほしいですね。本当にしっかり考えなくてはいけぬのは足元じゃないでしょうか。家族と地域と学校、とすることになるかなと思ひますね。

農業・農村を元気にするには何が必要か 人材育成と情報発信と土地改良

進藤 これから農業農村を元気にするうえで、現場を見ててどんなことが必要だと思ひられますか。

山上 今、耕作放棄地とか、人手不足で農業が継続できない所の景観保全のための支援を盛んに地域でやっていますが、農家以外の方が地域の中でそれを守ろうと農家ともコミュニケーションが取れる現場も出てきているので、そういう所はこれからの支援を続けて貰いたいと思ひます。

竹原 農業そのものを守るのも大事ですが、農村の景観も皆で守っていかなくてはならないと思ひます。多面的機能支払という新しいものと景観保全とは微妙なところもあると思ひますので、その兼ね合いのところ宜しくお願ひします。

木元 一言で言うとやはり人材育成が大切ではないでしょうか。農業を理解してもらひ発信の仕方を変えて貰うとか、どういう情報伝達の仕方が有効なのかとか、どういう人たちに解って貰えればもっと広がるのかとかという面に力を入れ、理解を深めた方がいいと思ひます。

最近話題となっているドローンで人が入って行けない場所とか、そういう細かい場所を撮影し、動画で見せるということはすごく印象的でインパクトがあり、それをweb関連とかネットを活用した発信の仕方をもっと強くやっていくと、もっと広がりを持つてくるかと思ひます。

進藤 本当に色々とありがとうございました。大変勉強になりました。農村地域で女性の活躍ができる環境づくりには、まず農業がしっかり元気であることも再確認できました。そのために必要な土地改良事業がしっかり進められるよう、引き続き頑張りたくと思ひます。

山上・竹原・木元 どうもありがとうございました。今後も宜しくお願ひします。

一般社団法人土地改良建設協会発行「土地改良293号」
(2016年4月号)より転載

県新任挨拶



農林水産部長
さとう ひろし
佐藤 博

日頃より本県の農業施策の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、県では、複合型生産構造への転換を促進するため、園芸振興のシンボルである「園芸メガ団地」に加え、新たなネットワークタイプの園芸拠点の整備や、農地中間管理事業を活用した経営規模の拡大に向けた支援のほか、マーケットインの視点に基づく流通販売対策など、農業者の所得拡大に向けた取組を強力に推進しているところです。

また、T P P協定の発効を見据え、本年3月に策定した「秋田県T P P農業関連対策大綱」においては、農業の構造改革を加速化するための施策として「担い手対策」、「生産振興対策」、「生産基盤対策」を三つの柱に位置付けており、「生産基盤対策」としては、稲作の低コスト化や経営の複合化に向けて、ほ場整備などの土地改良事業を積極的に推進していくこととしています。

活力ある秋田の創生実現には、農林水産業の成長産業化が不可欠であり、秋田の強みを活かし、産地間競争に打ち勝てるよう「攻め」と「守り」の両面から関連施策を着実に実施してまいりますので、引き続き御支援をお願いいたします。



農林水産部次長
たきがわ たくや
瀧川 拓哉

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃より本県の農業施策の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本県の平成28年度の土地改良予算については、平成27度補正予算と平成28年度当初予算を合わせて、前年度を大きく上回る執行予算を確保することが出来ました。このことは、秋田県土地改良事業団体連合会や土地改良区、市町村の皆様が「現場の声」と「土地改良の重要性」を各方面に粘り強く訴え続けて頂いた成果であると考えています。

県といたしましては、今後とも、計画どおりに事業を推進することができるよう必要な予算の確保に努めてまいりますので、皆様におかれましても引き続き力強い御支援をお願い申し上げます。本年度もよろしくお願いいたします。



農地整備課長
さとう のぶよし
佐藤 暢芳

皆様におかれましては、日頃より本県の農業農村整備事業の推進に御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、本県農業の基盤となる「農地」や「農業用水」などの保全・管理の役割を、それぞれの地域において365日昼夜問わず担っておられますことに、改めまして敬意を表します。

こうした農業の基盤を、次代に引き継いでいくという極めて重要な役割を担っておられる水土里ネット会員の皆様の「強い思い」に応えるべく、本年度も現場のニーズを着実に施策に反映して参りたいと考えております。引き続き御支援のほどよろしくお願い申し上げます。



農山村振興課長
いとう まひと
伊藤 真人

このたびの異動で農山村振興課長を拝命しました伊藤です。

水土里ネット会員の皆様におかれましては、日頃から農業農村事業の円滑な推進に格別のご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

T P Pや農政改革など、我が国を取り巻く農業情勢が大きく変化する中、本県においても農業の体質強化を急ぐ必要がありますが、県では「強い担い手づくり」や「複合経営への転換」、「構造改革を支える水田対策」などを柱に、農業者や地域の意欲ある取組をサポートしていくこととしております。

今後とも、地域や関係機関の声にしっかりと耳を傾け、現場のニーズを踏まえた施策・事業の展開に努めてまいりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

秋田県は4月1日付けで、平成28年度定期人事異動を発表しました。農林水産部及び各地域振興局の関係機関の主な担当者は次の通りになりましたのでお知らせします。

【秋田県農林水産部】

部長・次長・参事・課長等の紹介 (H28.4.1現在)

| | |
|-------------------------|-------|
| 部長 | 佐藤 博 |
| 森林技監 | 眞城 英一 |
| 部長待遇 (兼農業試験場長) | 照井 義宣 |
| 次長 | 渡辺 兵衛 |
| 次長 | 小川 正 |
| 次長 | 瀧川 拓哉 |
| 次長 | 湯元 巖 |
| 参事 (兼農林政策課長) | 齋藤 了 |
| 課長待遇 (秋田県農業会議派遣) | 皆川 知 |
| 課長待遇 (秋田県木材加工推進機構派遣) | |
| | 鈴木 光宏 |
| 課長待遇 (秋田県土地改良事業団体連合会派遣) | |
| | 工藤 輝喜 |
| 課長待遇 (秋田県林業公社派遣) | 沼倉 直人 |
| 課長待遇 (秋田県農業公社派遣) | 福田 正人 |
| 農林政策課政策監 | 岡部 研一 |
| 農業経済課長 | 鈴木 昌明 |
| 農業経済課販売戦略室長 | 佐藤 幸盛 |
| 農山村振興課長 | 伊藤 真人 |
| 農山村振興課政策監 | 村上 旬 |
| 水田総合利用課長 | 山本 拓樹 |
| 水田総合利用課政策監 | 大友 義一 |
| 園芸振興課長 | 目黒 久彦 |
| 畜産振興課長 | 小坂 純治 |
| 農地整備課長 | 佐藤 暢芳 |
| 水産漁港課長 | 千葉 俊成 |
| 林業木材産業課長 | 佐藤 龍司 |
| 林業木材産業課政策監 | 齋藤 俊明 |
| 森林整備課長 | 高松 武彦 |
| 農業研修センター所長 | 高山 正紀 |
| 果樹試験場長 | 菊地 正隆 |
| 畜産試験場長 | 酒出 淳一 |
| 水産振興センター所長 | 柴田 理 |
| 林業研究研修センター所長 | 石田 良春 |
| 病虫害防除所長 | 日野 誠志 |
| 花き種苗センター所長 | 新井 正善 |
| 北部家畜保健衛生所長 | 佐藤 伸行 |
| 中央家畜保健衛生所長 | 佐藤 行 |
| 南部家畜保健衛生所長 | 熊谷 清孝 |

【県地域振興局】

各地域振興局長及び農林部長名等は次のとおり。

【鹿角地域振興局】

◇局長：吉尾 成一 ◇農林部長：齋藤 秀悦
◇農林部次長：浅利 正義

【北秋田地域振興局】

◇局長：水澤 聡 ◇農林部長：畠山 鉄也
◇農林部次長：田中 盛喜

【山本地域振興局】

◇局長：倉部 明彦 ◇農林部長：河越 博之
◇農林部次長：谷藤 善久

【秋田地域振興局】

◇局長：奈良 博 ◇農林部長：山田 宗弘
◇農林部次長：五十嵐 宏明

【由利地域振興局】

◇局長：佐々木則夫 ◇農林部長：櫻田 良弘
◇農林部次長：木村 一虎

【仙北地域振興局】

◇局長：出雲 隆志 ◇農林部長：工藤 哲人
農林部次長：高橋 信明

【平鹿地域振興局】

◇局長：木村 雅彦 ◇農林部長：渡部 謙
◇農林部次長：齋藤 憲一

【雄勝地域振興局】

◇局長：三浦 泰茂 ◇農林部長：森田 泉
◇農林部次長：小松 貢一

【その他関係部署】

生活環境部
 八郎湖環境対策室長 高野 尚紀
 建設部
 技術管理課技術管理監 保坂 光久
 出納局
 検査課技術管理監 長谷川昭博

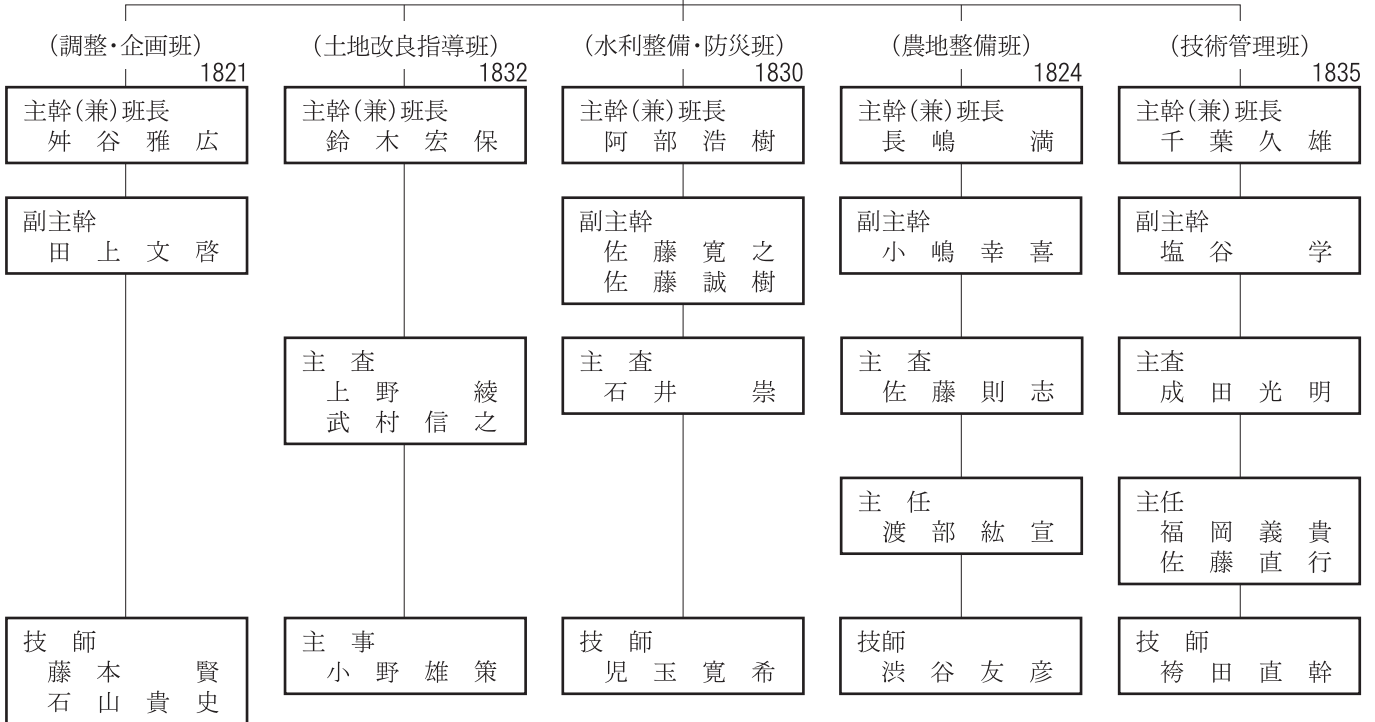
【各地域振興局農林部農村整備（一・二）課長・所長及び班構成】

◇鹿 角：佐藤 隆志
 （ふる里づくり班・生産基盤班）
 ◇北秋田：鈴木 慎一
 （管理班・ふる里づくり班・生産基盤班）
 ◇山 本：齋藤 良一
 （ふる里づくり班・生産基盤班）
 ◇秋 田：大山 泰
 （管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・
 生産基盤第二班・生産基盤第三班）
 ◇八郎湖基幹施設管理事務所：鈴木 義孝
 ◇由 利：中田 直樹
 （ふる里づくり班・生産基盤班）
 ◇仙北一課：佐々木 定勝
 （管理班・ふる里づくり班・生産基盤第一班・
 生産基盤第二班・生産基盤第三班）
 ◇仙北二課：渋谷 博徳
 （生産基盤第一班・生産基盤第二班）
 ◇平 鹿：伊勢谷 仁
 （ふる里づくり班・生産基盤第一班・生産基盤
 第二班）
 ◇雄 勝：工藤 淳
 （ふる里づくり班・生産基盤班）

農地整備課

電話 018-860-(4桁番号)
FAX 018-860-3863

課長
佐藤 暢 芳
1820

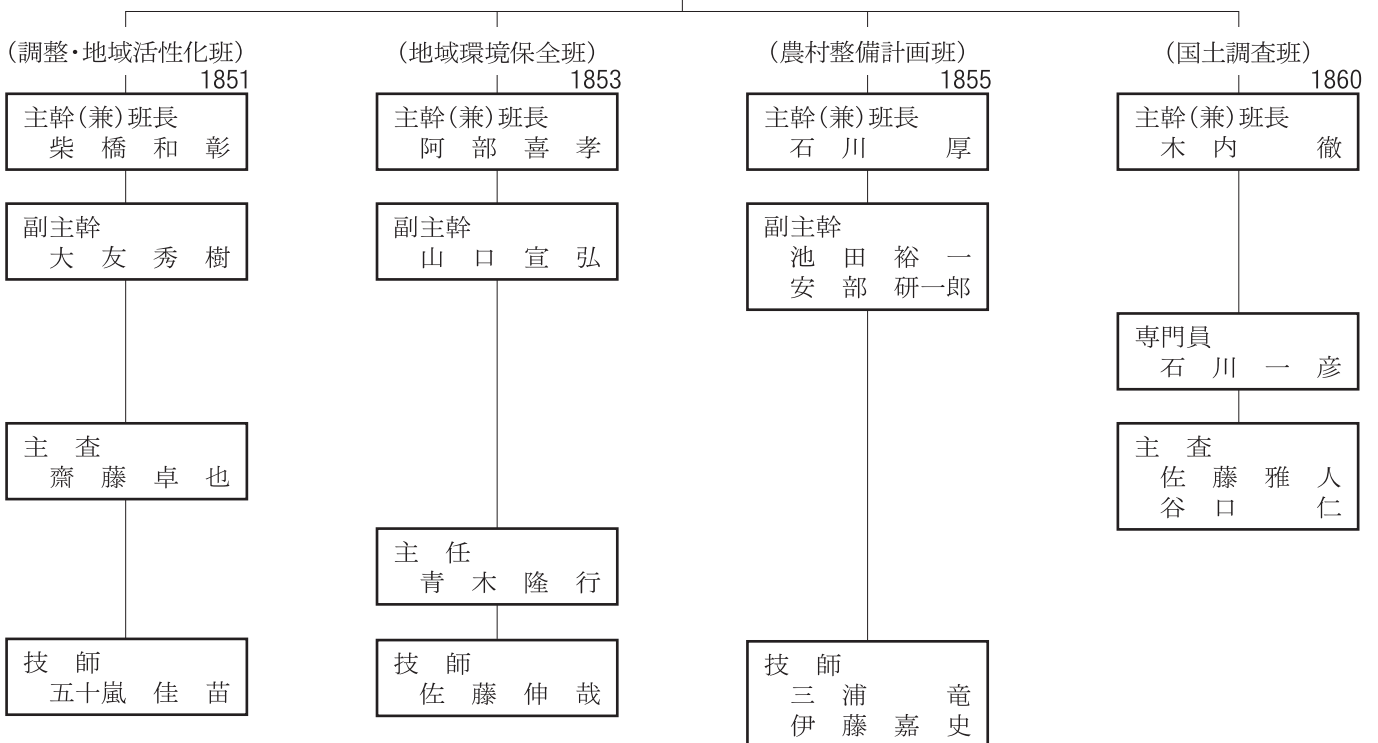


農山村振興課

電話 018-860-(4桁番号)
FAX 018-860-3815

課長
伊藤 真 人
1850

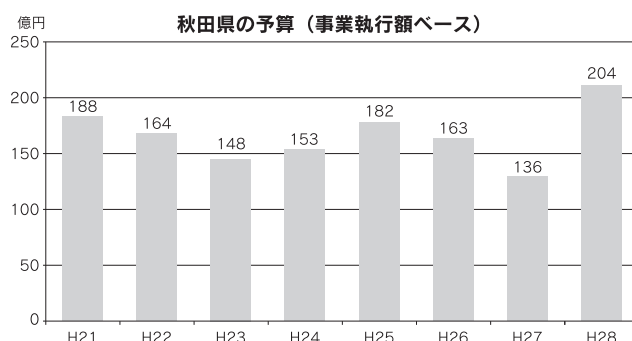
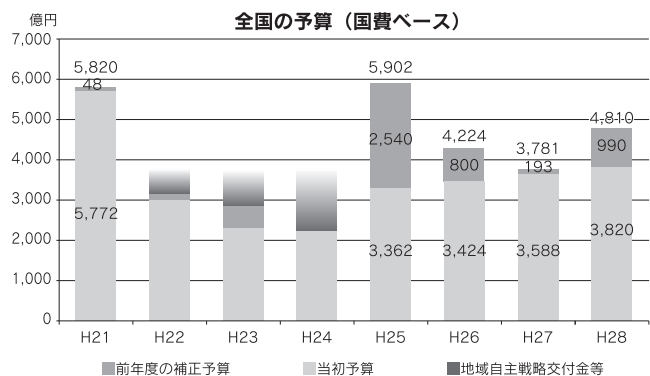
政策監
村上 旬
1861



平成28年度農業農村整備事業予算の概要について

○国の28年度当初予算は27年度より増額(106.5%)となっている。また、前年度補正予算を合わせた執行予算ベースも28年度は27年度比134%となっている。

○県の28年度当初予算は116億円を計上している。これに27年度補正88億円を加えた204億円が本県の28年度執行予算であるが、対前年比150%と大幅な増額となっている。



●水田畑地化基盤整備事業（畑地化促進排水事業）

園芸作物や畑作物の生産拡大を図るため、水田畑地化のための基盤整備（モミガラ補助暗渠施工）に一定の助成を行う。

- (1) 実施主体：農業法人、集落営農組織、認定農業者
- (2) 要件：園芸作物や畑作物の作付け
（水稲のブロックローテーションも可）
※面積要件や団地要件はなし

(3) 助成額：

1. 基本型

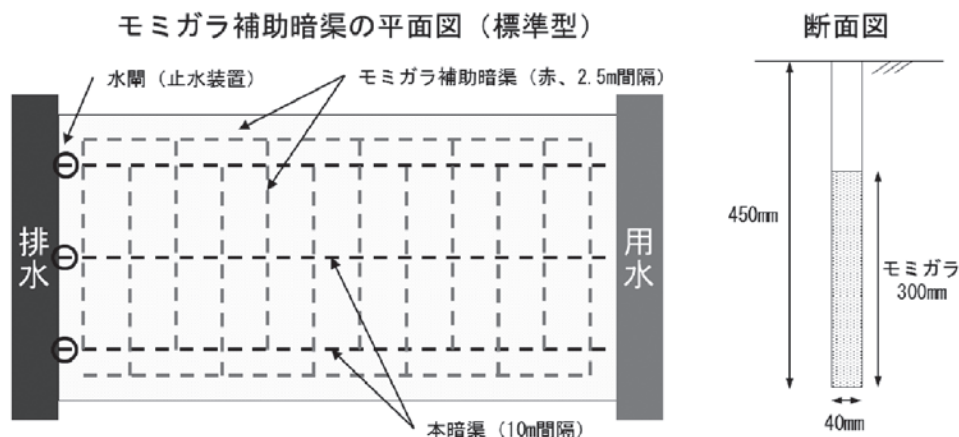
- ◆施工を業者に委託する場合：委託額の1/3を助成
12,600円/10aを上限
- ◆実施主体（農家等）が直営施工する場合
8,400円/10aを定額助成

2. 畑地拡大型

- （経営体の水稲以外の生産ほ場面積を20%以上拡大する場合）
- ◆施工を業者に委託する場合：委託額の1/2を助成
18,000円/10aを上限
 - ◆実施主体（農家等）が直営施工する場合
12,000円/10aを定額助成

(4) モミガラ補助暗渠について

本暗渠の直角方向に幅4cm、深さ45cm、間隔2.5m程度の溝を作り、モミガラを入れます。これにより、水田の水はけが向上します。



(ISO事務局)

| | | |
|----------------|-----------|----------|
| 技術・調整班 2737 | 主査 鈴木 誠 | 主任 小野 綾子 |
| | 専門員 児玉 正大 | |

(兼)班長 千田 忠平

| | |
|------------------------|----------|
| 水土里情報 センター室 2732 | 専門員 菊地 均 |
|------------------------|----------|

(兼)室長 千田 忠平

| | | |
|---------------|-------------|-------------|
| 施設保全班 2727 | 主査 伊藤 淳一 | 技師 富岡 祥太 |
| | 参事役 池田与嗣広 | 専門員 中村 勇市 |
| | 専門員 堀井 股次 | 専門技術員 阿部 博光 |
| | 専門技術員 加賀谷 達 | 主事補 筒井 千草 |

班長 佐藤 洋平

| | | |
|---------------|----------|----------|
| 集落環境班 2739 | 主任 細田 鉄也 | 主任 福岡 勝也 |
| | 技師 保坂さおり | |

班長 伊藤 一

| | |
|-------------------------|-------------|
| 農村総合整備 センター室 2732 | (兼)室長 千田 忠平 |
|-------------------------|-------------|

| | |
|------------------|----------|
| 1級建築士事務所 2744 | 調査役 矢守 敏 |
|------------------|----------|

| | | |
|-------|-----------|-----------|
| (部付け) | 主任 熊谷 栄一 | 専門員 久住 隆雄 |
| | 専門員 松田 光栄 | 専門員 伊藤 弘之 |
| | 専門員 佐藤 徳夫 | |

| | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| 農地整備第1班 2734 | 主任 吉岡 優人 | 技師 富樫 佳直 |
| | 技師 大山 雄平 | 参事役 加澤 隆昌 |
| | 専門員 畠山 将志 | 主事補 高坂美保子 |

班長 石井 淳

| | | |
|-----------------|-----------|-----------|
| 農地整備第2班 2719 | 主査 米谷 瑞穂 | 主任 佐々木孝行 |
| | 技師 遠藤 光 | 専門員 佐々木 徹 |
| | (兼) 高坂美保子 | |

班長 半田 英生

| | | |
|-------------|-----------|----------|
| 測量班 2728 | 副主幹 柏谷 直人 | 主査 大久保 匠 |
| | 主任 前山 知之 | |

(兼)班長 長崎 強

| | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 換地班 2741 | 副主幹 寺田 正樹 | 主査 武藤 進 |
| | 主査 佐々木敦志 | 技師 畠山 祐太 |
| | 主事 嵯峨あゆみ | 主事補 石井 陽子 |

(兼)班長 津谷 和弘

| | | |
|--------|-----------|-----------|
| 技術検討PJ | (兼) 工藤 輝喜 | (兼) 照井 聡 |
| | (兼) 金森 正広 | (兼) 佐藤 一則 |
| | (兼) 千田 忠平 | (兼) 小松 敏孝 |
| | (兼) 長崎 強 | (兼) 阿部 淳 |
| | (兼) 嵯峨 秀樹 | |

| | | |
|------|-----------|-----------|
| 災害PJ | (兼) 工藤 輝喜 | (兼) 猪俣 公 |
| | (兼) 伊藤 一 | (兼) 佐藤 洋平 |
| | (兼) 長崎 強 | (兼) 石井 淳 |

| |
|------------------|
| 管理情報部 |
| 部長 2723 佐藤 一則 |
| 次長 千田 忠平 |
| FAX 018-888-2835 |

技
監

工藤 輝喜 2729
照井 聡 2717

| |
|------------------|
| 農地整備部 |
| (兼)部長 照井 聡 |
| 次長 小松 敏孝 |
| 長崎 強 |
| 津谷 和弘 |
| FAX 018-888-2833 |

水土里ネット秋田 新任職員の紹介

4月1日付の人事異動で、本会に新たに4名が加わりましたので紹介します。

【 1. 所属・役職 2. 前職(出身校) 3. 主な資格 4. 抱負(自己PR) 】



工藤 輝喜

1. 技監
2. 秋田県農林水産部農地整備課主幹(兼)班長
3. 技術士(総合技術監理・農業土木)
4. 県から派遣となりました。農家目線を大切にし、本会業務に貢献したいと考えておりますので、ご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。



佐藤 聡太

1. 北事務所 農村整備班・技師
2. 秋田大学
3. ー
4. 一日も早く仕事を覚え、秋田県の農業農村の発展に貢献していけるよう努力して参りますので、よろしくお願い致します。



工藤 駿

1. 南事務所 農村整備班・技師
2. 秋田工業高等専門学校
3. 測量士補(申請中)
4. まだまだ至らない点が多々あると思いますが、いち早く戦力になれますよう日々精進して参りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



畠山 将志

1. 農地整備部 専門員
2. 秋田地域振興局農林部
3. ー
4. 昨年まで秋田県庁職員として5年間勤務してきました。それまでも民間企業で約15年間農業農村整備事業に携わってきており、NN歴は20年となります。これまで培ってきた知識や経験を活かし、秋田の土地改良に貢献したいです。

新たに合併した土地改良区についてお知らせいたします。

秋田県能代地区土地改良区

合併土地改良区 秋田県能代地区、能代北部、東雲原、能代市柳

合併形態 吸収合併

合併認可 平成28年4月1日

面積 3,785ha

組合員数 2,547人

所在地 秋田県能代地区土地改良区事務所

秋田県雄物川筋土地改良区

合併土地改良区 秋田県雄物川筋、十文字町、平鹿町、おものがわ、横手市沼館、阿気、横手市宮田

合併形態 吸収合併

合併認可 平成28年4月1日

面積 10,617ha

組合員数 7,255人

所在地 秋田県雄物川筋土地改良区事務所

来てけれ! 仙北市

仙北市農林部
八柳 司

土地改良功労者等表彰



去る平成28年3月25日、第58回全国土地改良事業団体連合会総会にて平成27年度土地改良功労者等表彰式が行われました。本市「仙北市西木土地改良区」が長年の農業基盤の整備開発に務めた団体に送られる「銀章」を受賞しました。先日この報告のため市長を表敬訪問されました。

ミズバショウ



J R田沢湖線の刺巻駅から徒歩15分、広いハンノキ林に囲まれた一面に純白の花と緑の葉のコントラストが美しい『刺巻湿原』が広がります。

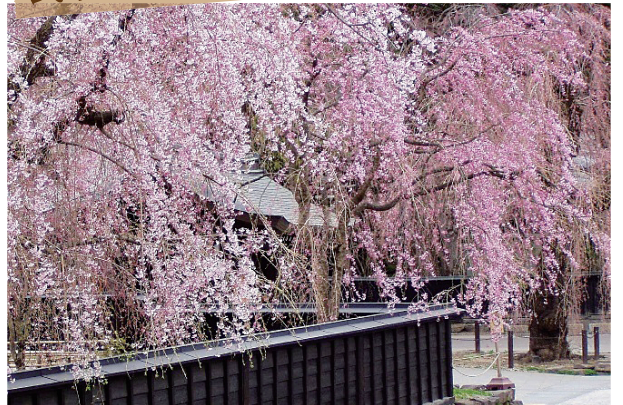
山間部に生息するミズバショウは清楚と云う言葉がぴったりで、形の似ている深紅のザゼンソウもところどころに咲き、色を添えています。

カタクリ群生地



西木町のかたくりの群生地は、なだらかな山腹に広がる栗園の中にあります。規模・密度共に国内随一といわれる。ここ八津・鎌足の群生は、アリが一粒ずつ運んだ種子が発芽し、開花するまで8年の歳月を要するといわれています。

武家屋敷とシダレザクラ



佐竹藩の城下町として有名な角館の武家屋敷。その通りには樹齢200年以上といわれる約400本の枝垂桜が咲き、162本が国の天然記念物に指定されています。

この桜は、約350年前佐竹北家二代目義明の妻が京都から興入れをする際、故郷を偲び、道具箱に入れた3本の苗木が由縁と伝えられています。

ソメイヨシノ



J R田沢湖線の角館駅から徒歩15分、武家屋敷通りからほど近い桜木内川沿いに約2kmに渡るソメイヨシノの桜並木があります。

国の名勝に指定されている桜は、現天皇のご誕生を記念して昭和9年に植えられたもので、その迫力は圧巻です。

今年の仙北市花紀行を見逃した方は、是非来年お待ちしております。



扇状地形による水利慣行の歴史

羽後町土地改良区

奥山賢次

雄勝郡羽後町西馬音内で行われる西馬音内の盆踊は毎年8月16日から18日まで西馬音内本町通りにおいて行われる。秋田県三大盆踊りとも、日本三大盆踊りとも称され、国指定重要無形民俗文化財に指定されている。この西馬音内地区を中心に水利慣行について当時の文献を参考に維持管理の変遷を説いてみる。

県内陸南部の西南縁部一端を画するこの地域は、出羽丘陵の東端にも当り、これに沿ってほぼ西南から北に位置している。雄物川水系の1級河川西馬音内川は山裾に向け西から東に流れ出ているが、谷口の禁（ふもと）集落を扇頂に概ね平坦な扇状地が発達しており、この扇面には河跡の光景が見られる。

扇央の西馬音内町附近は洪積層を基盤とし、数メートルからなる砂礫層が累積する伏流地帯で、浸透性がきわめて顕著であることから、このあたりの水田は「ザル田」と称された。灌漑期にはたびたび濁水となり川底があらわになる。早魃には農業用水はもちろんのこと飲用水も困難な年もあった。

堰は当時大小7本を数え、灌漑耕地を多く所有する堰ほど古く、最も古い堰は約450年前に作られたとされている。各堰への配水割合は川の本流六分に対し分流四分になるように決め、上流・下流の取入口を通じて分水の平等を要点として。それぞれの堰の管理と権利は、堰からの水利を受ける「行政区間」（現在の集落に相当する範囲）が行い、他の「行政区間」の制約を受けない。これを立証できる事例に「鋤止田」・「客分田」等がある。この「鋤止田」・「客分田」とは他の集落の人が耕作する灌漑区域内の田地のことであり、この田の耕作人は堰管理や運営について全く発言権をつことができない。

早魃の年には水不足が生じ一斉に取水できない。そのため順番を定めて取水する番水制が行われた。灌漑区域をいくつかに分けて下流より順次に用水を入れることになるが、灌漑区域の耕地条件を考慮した上で半日制と昼夜制の内いずれかにより実施された。番水が開始されると堰頭は昼夜を問わず監督に当り、またその地域に堰頭が居ない地区は灌漑区域の最高耕作者が看守することになっている。番水の違反者に対する罰則として、酒一斗とにしん一束を出させる掟があり、これはまた盗水した際にも同様であった。番水の取り決めを含む西馬音内川の取水について調べていくと、先人達が水管理を重大な問題として捉えていることが皮膚感覚で感じられる様で、その知恵と苦労を思うと頭が下がる。

昭和46年からの大規模圃場整備事業により局地的に地形は変わり、西馬音内川より取水している堰は土地改良区により整備された。耕作者間の決まり事は概ね古から引き継がれているようだが、違反者に対する当時の掟は今は幻影とされているようだ。



▲昭和43年12月基盤整備前西馬音内



▲基盤整備後46年経過した西馬音内

十土地改良区の合併

秋田県仙北平野土地改良区

坂本 由美子



「あれっ、私、いつもと言葉遣いが違う？」そう思ったのは、本年二月三日、合併した土地改良区の職員が従来事務所にいるため、電話でのやりとりを終えて受話器を置いたときです。

それまで各土地改良区の職員だったのが、前日に合併の認可が下りて、同じ土地改良区の職員になったとたん親近感が湧いて、つい秋田弁で話していました。

春は、別れと出会い、旅立ちの季節であります。私事では、子供達が進学や就職のため親元を離れ、「としねえ」思いをしているなか、合併により職場が大所帯となり嬉しいかぎりです。

この出会いは、歴史ある土地改良区に合併という決断をされた理事長始め役員総代の皆様とご指導くださった秋田県、関係市町、土地連等の皆様のお陰であり、職員として、関係者の方々の思

いやご苦労を忘れることなく、目的に向かい一丸となって進まなければならぬと思います。

以前読んだ冊子に載っていた、印象に残っている言葉があります。「二人の十歩より、十人の一步」という言葉です。今こそ、その言葉どおり組織力を強化し高める時機だと思えます。組合員農家のため、地域農業のために！

そんな事を考えながら空を見上げると、ハクチョウがきれいな群れをつくって飛んでいきました。

(ちなみに、親近感が湧いたときも標準語で話します。)



会員だより

新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。

- 秋田市豊岩小山土地改良区(H28.4.1)
理事長 佐賀 英志
- 秋田県協和土地改良区(H28.4.1)
理事長 鈴木 正雄
- 秋田市豊岩中央土地改良区(H28.4.8)
理事長 池田 秀勝

事務所移転のお知らせ

- 秋田市豊岩小山土地改良区
〒010-1653 秋田市豊岩小山字狐森56番地
電話：018-828-0790
- 二ツ井町富根土地改良区
〒018-3122 能代市二ツ井町飛根字前田67番地1
電話・FAXは従来通り
- 男鹿市五里合土地改良区
〒010-0353 男鹿市五里合神谷字下石27番地
(五里合市民センター内)
電話・FAXは従来通り
- 雄和土地改良区
〒010-1341 秋田市雄和新波字本屋敷1-1
(新あきた農協大正寺販売所内)
電話・FAXは従来通り

連 合 会 日 誌

| | | |
|-------|-------------------|-------|
| 4月11日 | 県選出国会議員要請活動 | 東京都 |
| 4月14日 | 第1回正副会長会議 | 本会会議室 |
| 4月15日 | 職員会秋田支部平成28年度通常総会 | 秋田市 |
| 4月19日 | 仙北支部全体会 | 大仙市 |
| 4月20日 | 本会第1回監事会 | 本会会議室 |
| 4月20日 | 本会第1回理事会、第1回役員会 | 本会会議室 |
| 4月21日 | 山本支部全体会 | 能代市 |
| 4月22日 | 雄勝支部全体会 | 湯沢市 |

今後の行事予定

| | | |
|-------|-----------------------------|-------|
| 4月25日 | 秋田県農業再生協議会通常総会 | 秋田市 |
| 4月27日 | 横手地区農地集積加速化基盤整備事業安全祈願祭 | 横手市 |
| 4月26日 | 都道府県土地改良事業団体連合会長・事務責任者合同会議 | 東京都 |
| 4月27日 | 大館・北秋田支部全体会 | 大館市 |
| 4月28日 | 鹿角支部全体会 | 鹿角市 |
| 4月28日 | 由利支部全体会 | 由利本荘市 |
| 5月12日 | 平成28年度第1回事務責任者会議並びに第56回通常総会 | 山形県 |
| 5月30日 | 農業農村整備の集い | 東京都 |



地域の『おもてなし』

水土里レポーター：秋田県雄物川筋土地改良区
佐々木 隆



県南地方に於いて、特に祝い事の際に振る舞われる『太巻き』。柔らかな食感の酢飯を染める蔓紫の実をはじめ、美しい模様を描き出す具材の全ては、畑で獲れたものである。

作り手は仲間との時間に生きる喜びを感じ、祝いの場では見る人を楽しませる『おもてなし』となる。

水土里キッズのわくわく探訪 in にかほ

今年にはにかほ市の農業水利施設を見学しよう！

話題の小水力発電施設もあるよ。

開催日 平成28年6月25日(土)

時間 8:00 水土里ネット秋田集合

対象 秋田市内・にかほ市内(又は上記2場所まで送迎可能な)小学校4～6年生

募集〆切 平成28年6月10日(金)

イベント
告知

水土里のゴミゼロDAY

5月30日(月)は、「ゴミゼロ」の日！ みんなで農業水利施設のゴミを なくしましょう！

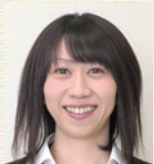
この運動は、県内8支部で一斉に農業水利施設周辺のクリーンアップ活動を行い、清掃活動及び巡回点検は勿論、更には、新聞やTV、ラジオなどのマスメディアを通じて水土里ネットの存在を広く一般の人に知ってもらうことを目的としています。現在、各支部へ配布する「防水横断幕」も制作中です。

水土里ネットの活動を多くの方に知ってもらうためにも、皆様のご協力をお願い致します！！

※場所等の詳細につきましては、HP等でお知らせします



リレー 感想文 vol.5



いつも職員みんなで拝見しています。

他の地域の特徴や取組み等に、いつも興味津々です。

秋田県仙北平野土地改良区：

斎藤麻衣子より

編集 後記

「ちょっと耳より知恵袋」ファンの皆さん、こんにちは！今回は紙面の都合上、記事の掲載を見送ることにしました。今回は行政不服審査法の改正に伴う各種変更点を内容とする予定でした。例えば、賦課通知書に記載する教示文が一部変更になるなどです。もっとも、改正による変更をコンパクトにまとめることは難しく、執筆を次号に先送りできホッとしたのが本心だったりします(´ω`)ゞ
(事業調整センター◆加藤)

